



# 創業50周年記念特別企画

スコットランド、アイルランド、アメリカ

vol.15



“嘆きの谷”と呼ばれるグレンコー (スコットランド)



荒波が打ちつける夕刻のモハーの断崖 (アイルランド)



大渓谷、グランドキャニオンの谷底に向かって出発 (アメリカ)



# 秋色に染まる“虹の国”スコットランド ゆったりハイキング 10日間

ハイランドと呼ばれるスコットランド北部を中心に、氷河によって形作られた独特の山岳景観をゆったりハイキングで満喫します。さらに、海岸線のフットパス、ウイスキー蒸留所見学、ローカル線乗車、城跡探訪、世界遺産エディンバラなど、スコットランドの文化や歴史にも触れる充実の内容です。



▲シラカバの黄葉が美しいグレン・アフエリック(4日目)



▲ローモンド湖を一望できるコニックヒル(7日目)

## “虹の国”スコットランド

にわか雨の後、雲の切れ間から太陽が顔をだし、虹が大きくかかる。スコットランドはこのような天気になることが多く、しばしば“虹の国”と呼ばれています。低く漂う雲と高緯度地域ならではの淡い太陽光線がハイランド特有の雰囲気を作り出しています。広大なU字谷、険しい岩山を覆うヒース、荒涼とした景観のなかに建つ城館、「怪獣ネッシー」で有名なネス湖をはじめとした数々の神秘的な湖など、ハイランドはまさにヨーロッパの秘境と呼ぶにふさわしい場所です。英国の高峰群が密集する「ケアンゴームズ国立公園」、秋の黄葉がスコットランドで最も美しいと言われるグレン・アフエリックなど、ハイランドならではの自然景観を楽しむことができるハイキングコースにご案内します。歩行時間は1日あたり2〜3時間で、標高差も少ないコースを歩きますので、ゆったり、ゆとりをもった行程となっています。またハイキング以外の“楽しみ”も盛りだくさんで、島国ならではの“海の幸”グルメや伝統料理、夕食後のパブタイムでは地元産のウイスキーや地ビールをお楽しみいただけます。鉄道発祥の国でローカル線に乗車、文化や歴史にも精通した現地ガイドの解説も旅に深みを与えてくれることでしょう。



▲スペイサイドウェイの一部を歩く(3日目)



▲ナショナルトラスト運動により整備されたトレイル看板



▲ベーカリーで美味しいランチを購入



▲ネス湖畔のアーカート城(4日目)



▲スコッチウイスキーの蒸留所を訪問



▲ホテルにはパブが併設されていることが多い



▲グレンコー・ハイキング(6日目)



▲スコットランドの名物料理「ハギス」



▲グレンフィナン陸橋を渡るウエスト・ハイランド線の列車 (5日目)

**発着地** 東京・大阪 **各地からの日本国内線はお問い合わせください。**

**歩行時間** **宿泊高度** **宿泊施設** **飛行機** (全ホリ日)

出発日～帰国日	旅行代金
10/14(月)～10/23(水)	¥636,000

- 燃油サーチャージ(2019年6月20日現在: 目安約25,000円～32,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー: 東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数: 12人 ● 食事: 朝8回、昼0回、夕6回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。
- 一人部屋利用追加料金: **¥120,000**
- 利用予定航空会社: エールフランス、ブリティッシュ・エアウェイズ、日本航空、KLMオランダ航空、ルフトハンザ・ドイツ航空、スカンジナビア航空、フィンエア

## スコットランドを代表するロングトレイルを日帰りハイキングで楽しむ

登山、トレッキング愛好家が多いスコットランドでは、変化に富んだたくさんのロングトレイルが整備されています。今回はその中から2つのロングトレイルのハイライトを歩きます。世界的にも有名なスコッチウイスキーの蒸留所が集中するスぺイ川沿いに整備された「スぺイサイドウェイ」では、野鳥の観察シェルターが設置されているガーテン湖周辺の美しい原生林を歩きます。運が良ければ、猛禽類の「ミサゴ」を見ることができのかもしれない。旅の後半で訪れる「ウエストハイランドウェイ」は、氷河によって削られた急峻な山並みが特徴的なトロサックス地方からグレンコーにかけて南北に縦断する全長154kmのロングトレイルで、スコットランド随一の人気を誇ります。今回は「ロッホ・ローモンド トロサックス国立公園」で、トレイルの一部を日帰りハイキングで歩きます。国立公園として制定されながらも、フットパスをはじめとしたナショナルトラスト運動により整備されたトレイルが多く、英国ならではの自然保護の考え方に触れることができます。

## “The water of life (命の水)”

スコットランドと言えば飲み物はもちろん「スコッチ」です。厳しい自然環境で育成した「麦」とスぺイ川上流の「軟水」で仕込まれます。さらにハイランド特有のヒースが堆積、炭化した「ピート」で香り付けされます。地元では「命の水」の別名をもつスコッチウイスキーをぜひご賞味ください。



▲50以上の蒸留所が集中するスぺイサイド

## 世界遺産の街エディンバラ

「北のアテネ」と呼ばれるスコットランドの古都、エディンバラの街にゆったりと2連泊します。美しい旧市街の散策や英国名物のアフターヌーンティーなどをお楽しみください。



▲カルトン・ヒルからの街並み

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京・大阪 発 アバディーン 着/発 バラター 着	午前、東京・大阪発→ヨーロッパ都市で乗り継ぎ、アバディーンへ。着後専用車で、バラターへ(約1時間)。 <b>【バラター泊】</b>
2	バラター 滞在 ケアンゴームズ国立公園 ハイキング ウイスキー蒸留所見学	朝、専用車でディー川渓谷沿いの登山口へ(約20分)。 <b>★スコットランドの屋根と言われている山岳景観が美しいケアンゴームズ国立公園をハイキング</b> (徒歩約3時間)。その後、 <b>スコッチウイスキー蒸留所を見学</b> し、ホテルへ戻ります。 <b>【バラター泊】</b>
3	バラター 発 ナーシーブリッジ 着/発 スぺイサイドウェイ ハイキング	朝、専用車でスノーロードを通り、スコッチウイスキーの蒸留所が最も多いスぺイサイド地方へ(約1時間)。 <b>★ナーシーブリッジからガーテン湖まで、ロングトレイル「スぺイサイドウェイ」の一部をハイキング</b> (徒歩約2時間)。その後、専用車でネス湖畔の小さな街、ドラムナードロケットへ(約1時間)。 <b>【ドラムナードロケット泊】</b>
4	ドラムナードロケット 発 グレン・アフェリック ハイキング ネス湖/アーカート城 フォートウィリアム 着	朝、専用車でグレン・アフェリックへ(約30分)。 <b>★シラカバの黄葉が美しいドッグ滝沿いのトレイルをハイキング</b> (徒歩約2.5時間)。その後、 <b>ネス湖畔の廃墟の城アーカート城を見学</b> 後、フォートウィリアムへ(約1.5時間)。 <b>【フォートウィリアム泊】</b>
5	フォートウィリアム 滞在 ローカル線乗車 アリスアグフットパス ハイキング グレンフィナン陸橋 ウォーキング	朝、 <b>海岸線沿いの車窓風景が素晴らしいウエストハイランド線に乗車</b> し、漁師の町マレイグへ(約1時間)。 <b>★白い砂浜が美しいアリスアグのフットパスをハイキング</b> (徒歩約1時間)。海岸線の向こう側にはスカイ島を望むことができます。その後、専用車でグレンフィナンへ(約30分)。 <b>★映画ハリポッターのロケ地として知られるグレンフィナン陸橋を望むウォーキング</b> を楽しみます(徒歩約1時間)。その後、専用車でフォートウィリアムへ(約30分)。 <b>【フォートウィリアム泊】</b>
6	フォートウィリアム 発 グレンコー・ハイキング ドライメン 着	朝、専用車でグレンコーへ(約30分)。 <b>★映画007スカイフォールのロケ地として知られる嘆きの峡谷という意味のグレンコーでハイキングを楽しみます</b> (徒歩約3時間)。その後、専用車でロッホ・ローモンド国立公園の玄関口の町、ドライメンへ(約2時間)。 <b>【ドライメン泊】</b>
7	ドライメン 発 ロッホ・ローモンド国立公園 ハイキング エディンバラ 着	朝、登山口へ。 <b>★ローモンド湖の展望が美しいコニックヒルに登ります。途中、ロングトレイルとして知られる「ウエストハイランドウェイ」の一部を歩き、ローモンド湖畔の町バルマハへ</b> (徒歩約3時間)。その後、専用車でエディンバラへ(約2時間)。 <b>【エディンバラ泊】</b>
8	エディンバラ 滞在 エディンバラ半日市内観光 フリータイム	午前、 <b>世界遺産に登録された街、エディンバラ半日市内観光</b> 。午後は <b>英国名物のアフターヌーンティー</b> にもご案内します。その後、フリータイム。 <b>【エディンバラ泊】</b>
9	エディンバラ 発	朝、エディンバラ発→ヨーロッパ内都市で乗り継ぎ、東京・大阪へ。 <b>【機中泊】</b>
10	東京・大阪 着	午前、東京・大阪着。

\*航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲黄葉が美しいフォートウィリアムと英国最高峰ベンネグイス(1,344m)(5日目)

ハイキングから歴史、文化探訪まで、アイルランドの多彩な魅力を味わう



# 遙かなるケルトの大地へ アイルランドゆったり紀行 10日間

緑美しい大地や、切り立った断崖とその先に広がる紺碧の大海原など、もっともアイルランドらしい風景と文化が残る西部を舞台に、毎日趣の異なるハイキングを楽しめます。B&Bでの宿泊や、アラン諸島での滞在、修道院や遺跡群、首都ダブリン観光など、アイルランドを満喫する内容です。



▲海に囲まれたアイルランドでは、美しい海岸線を望む絶景ハイキングが楽しめる



▲アラン諸島、迫力のドゥーン・エンガス (5日目)

## 「エメラルドの島」アイルランド

アイルランドは、イギリスの西部、北大西洋に位置しています。北海道とほぼ同じ面積ですが、海岸線の総延長は2倍の5,600kmにも及び、波と風に浸食された荒々しい風景は見る者を圧倒します。一方で、暖流の影響で1年間を通じて温暖なため、大地は国花であるシャムロック(マメ科のクローバー、またはシロツメクサ)などに覆われ、のどかな風景が広がります。緑の多さから「エメラルドの島」と呼ばれるほどです。ヨーロッパの果てにふさわしい荒涼とした風景と、のどかで牧歌的な風景が見事に調和したアイルランドの大自然をお楽しみください。

## 多彩な「フットパス」を歩く

アイルランドはお隣の英国と同様に、ウォーキングを楽しむ人のためのトレイル「フットパス」の保全活動に熱心な国のひとつです。海から突き上げる断崖絶壁や自然の中に点在する遺跡、独特のケルト文化を楽しみながら歩く多彩なハイキングルートが点在します。のんびりと草を食む羊の群れを横目に、海から吹く爽やかな風を受けながら歩く毎日は、心躍る体験となることでしょう。厳しさの中にも穏やかな風景が見え隠れするアイルランドの自然を歩けば、アイルランドが生んだ偉大なる歌姫エンヤの調べを口ずさまずにはいられません。



▲バレン高原の巨人のテーブル (7日目)



▲海岸沿いのトレイルを歩く (6日目)



▲緑あふれるウィックローでのハイキング (2日目)



▲ボリュームあるアイリッシュ・ブレックファストやギネスビールなどの食事を楽しむ



▲ダブリンの聖パトリック大聖堂 (8日目)



▲美しい風景が広がるイニシュモア島 (5日目)



▲ハイキングでは歩くにつれて眼下に大西洋と湖沼群が広がる

**発着地** 東京・大阪 **名古屋・福岡・札幌**などからの**お得な日本国内線特別代金プラン**あり。

**歩行時間** **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	東京発着	大阪発着
10/15(火)～10/24(木)	¥580,000	¥580,000

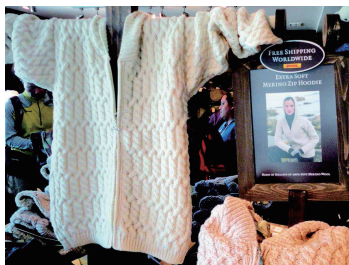
- 燃油サーチャージ(2019年6月20日現在:目安約0円～31,400円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京まで全行程同行してご案内します。
- 最少催行人数:12人 ●食事:朝8回、昼3回、夕5回
- 利用予定ホテル:**ダブリン**:⑧/ランズダウン **ラヒンチ**:⑧/ラヒンチコースト
- 一人部屋利用追加料金:¥110,000 ●利用予定航空会社:KLMオランダ航空、エールフランス航空、エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ

## ハイキングから、宿泊、食事まで、アイルランドの文化に触れる旅

計5回、風光明媚なハイキングをたっぷり楽しんだ後は、地元のアイリッシュ・パブに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。店内には心地よいケルト音楽が流れ、ビールを片手に話に花を咲かせる陽気なアイルランド人で賑わっているはず。パブはパブリックハウスの意味があり、文字通り村の社交場として発展してきました。現在でも各村や町には必ずパブがあり、男性陣のみならず、子供連れの家族が楽しく食事をする様子が見られます。他にも、アイリッシュウイスキーの蒸留所の見学や、修道院など、アイルランドを満喫する盛りだくさんの内容でご案内します。またアラン諸島ではアイルランドでとてもポピュラーな宿泊施設であるB&B(ベッド&ブレイクファスト)に泊まります。アイリッシュの、アットホームな雰囲気を感じてください。連泊が3度含まれるゆとりある日程ですので、のんびりとアイルランドの魅力を楽しんでいただけることと思います。



▲パブが建ち並び賑やかなクリフトンの町



▲アラン諸島のアランセーターはお土産に最適



▲円形が輪廻転生を表すケルト十字



▲静かな湖畔に立つカイルモア修道院(4日目)

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京・大阪 発 經由都市 着/発 ダブリン 着	午前、東京・大阪発→ヨーロッパ内都市で乗り継ぎ→ダブリンへ。 その後、専用車で市内のホテルへ。 <b>機【ダブリン泊 ⑧】</b>
2	ダブリン 滞在 <b>ウィックロー森林公園 ハイキング</b>	午前、ウィックローへ(所要約2時間)。 <b>★ダブリンの南に位置するウィックロー森林公園で軽ハイキング</b> (徒歩約3時間)を楽しみます。ここには、ラウンドタワーや修道院跡など、ケルトの文化遺跡が数多く残っています。 <b>朝⑧⑨【ダブリン泊 ⑧】</b>
3	ダブリン 発 <b>キルベガン蒸留所</b> ゴールウェイ 着 <b>ゴールウェイ散策</b> ゴールウェイ 発 クリフトン 着	ダブリン発、アイルランド西部に向かいます(約1時間)。途中、 <b>キルベガン蒸留所</b> に立ち寄ります。1757年創業の歴史ある蒸留所で、アイリッシュ・ウイスキーの蒸留行程を見学します。カフェではアイリッシュコーヒーも楽しめます。その後、西アイルランドの中心地ゴールウェイへ(約1.5時間)。 <b>大聖堂や中心広場であるエアスクエアなどを散策</b> します。午後、丘陵地帯から山々、湖沼群など、移り変わる風景を楽しみながら、クリフトンへ(約2時間)。 <b>朝⑨⑩【クリフトン泊 ⑨】</b>
4	クリフトン 滞在 <b>カイルモア修道院</b> <b>コネマラ・コースト ハイキング</b>	朝、豊かな森と湖沼の中に立つ <b>カイルモア修道院</b> へ(約0.5時間)。この1868年建造のマナーハウスは、1920年よりベネディクト派の修道院として使われています。その後、 <b>コネマラ国立公園</b> のダイヤモンドヒル(442m)、またはエリスベッグ山(300m)のハイキングへ。 <b>★登るにつれて眼下に大西洋や湖沼群が広がる絶景を楽しみます</b> (徒歩約3時間)。 その後、専用車でクリフトンへ戻ります(約0.5時間)。 <b>朝⑩⑪【クリフトン泊 ⑩】</b>
5	クリフトン 発 ロッサビール 着 イニシュモア島 着 <b>ドゥーンエンガス ハイキング</b> <b>イニシュモア島散策</b> イニシュモア島 着	午前クリフトン発、ロッサビール港へ(所要約1時間)。フェリーでアラン諸島最大の <b>イニシュモア島</b> へ(所要約40分)。その後 <b>★絶壁の海岸線、ドゥーンエンガスの断崖でのグリフウォーキング</b> (徒歩約2時間)や <b>島内散策</b> を楽しみます。 イニシュモア島での宿泊は、アイルランドの典型的な宿泊施設であり、こじんまりとしてアットホームな <b>B&amp;B(ベッド&amp;ブレイクファスト)</b> です。 <b>朝⑪⑫【イニシュモア島泊 ⑪】</b>
6	イニシュモア島 発 ドゥーリン 着 <b>モハーの断崖ハイキング</b> モハーの断崖 発 ラヒンチ 着	午前、フェリーでイニシュモア島発、ドゥーリン港へ(所要約1時間)。 午後は <b>★荒々しい断崖線が続くモハーの断崖でのハイキングを楽しみます</b> (約2時間)。 その後、専用車で海岸沿いの町ラヒンチへ(所要約0.5時間)。 <b>朝⑫⑬【ラヒンチ泊 ⑫】</b>
7	ラヒンチ 滞在 <b>バレン高原ハイキング</b>	“不毛の地”を意味するバレン高原で <b>アーウィーの洞窟</b> や <b>巨人のテーブル</b> 、ケルト十字と呼ばれる <b>ハイクロス</b> などを見学。また <b>★石灰岩の堆積した広大な丘から海岸線を望む絶景のハイキング</b> (約3時間)を楽しみます。 その後、ラヒンチへ戻ります(所要約1時間)。 <b>朝⑬⑭【ラヒンチ泊 ⑬】</b>
8	ラヒンチ 発 ダブリン 着 <b>ダブリン市内観光</b>	一路ダブリンへ(所要約3時間)。 午後は <b>ダブリン市内観光</b> を楽しみます。 <b>朝⑭⑮【ダブリン泊 ⑭】</b>
9	ダブリン 発 經由地 着/発	ダブリン発→ヨーロッパ内都市で經由し、→帰国の途へ。 <b>朝⑮機【機中泊】</b>
10	東京・大阪 着	午前、東京・大阪着。 <b>機</b>

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲コネマラ国立公園のダイヤモンド・ヒル山麓で草を食む馬の親子(4日目)

自然と歴史の作り上げた絶景、世界遺産グランドキャニオンの谷底までを歩いて往復する充実の旅

# 世界遺産グランドキャニオン谷底 往復トレッキング 8日間

世界遺産グランドキャニオンを舞台に、渓谷の底を流れるコロラド川までを歩いて往復する2泊3日のトレッキングです。グランドキャニオンの南側の縁より1,400m下った谷底に位置するキャンプサイトに2連泊し、渓谷に抱かれた贅沢な滞在を満喫します。大岸壁に囲まれた谷底での滞在は、贅沢な至福の時間です。



▲20億年の歴史が刻んだ大渓谷の中を進む(3日目)



▲グランドキャニオンの縁より渓谷を見下ろす(2日目)

## 世界遺産グランドキャニオンを歩き、 大自然の驚異を体感する旅

世界遺産のグランドキャニオンを、自らの足で歩いて往復する特別企画です。アメリカのみならず、世界各国から多くの人々が訪れる世界遺産グランドキャニオンは、人類が守っていかなければならない地球の宝物ではないでしょうか。東京から琵琶湖までの距離に匹敵する東西約450キロの長さを誇り、深さはスカイツリーがゆうに2つは入ってしまうというこの大渓谷は、コロラド川の浸食によって作られた大自然の偉大な造形美です。グランドキャニオン“大渓谷”という名前の通り、そのスケールの大きさは見るものを圧倒します。今回はそのグランドキャニオンを上から眺めるだけでなく、大渓谷の奥深くまで歩いて入ります。

今回、谷底への往復には違うルートをとりますので、異なる表情を楽しむことができるのも魅力です。テントや食料、食器、寝袋などは現地を用意されており、これらはミュール(ラバ)が運搬しますので、2泊3日の個人装備(着替えやヘッドランプ、個人マットなど)のみを背負って歩きます。出発日限定、8名様限定の特別企画です。



▲滞在日には渓谷内を散策(4日目)



▲コロラド川に架かる橋を渡ってキャンプサイトへ

### 私がお案内します

アダム・リーフラン

アメリカ、ラスベガス在住。いつも笑顔で明るく、任せて安心のアウトドアマン。もちろん自然から歴史、文化まで知識も豊富。日本滞在経験も豊富で、流ちょうな日本語でのガイドぶりが大好評。多くの方にアメリカの大自然を楽しんでいただくのが使命とのこと。



アウトドアでの  
クッキングも得意



▲残丘の間を縫って作られたトレイル(3日目)



▲コロラド川にかかる橋(右下)とキャンプサイト(左奥の緑の木が生えている付近)を望む

発着地 東京 **各地からの日本国内線はお問い合わせください。**

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
10/13(日)～10/20(日)	¥526,000

**8名様限定・特別企画**

- 燃油サーチャージ(2019年6月20日現在:目安約21,000円)が別途必要です。今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 米国ESTA(ESTA=電子渡航認証システム、実費14USDドル+申請料金4,320円、2019年6月現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー:ラスベガスからラスベガスまで同行します。添乗員は同行しませんが、出発日によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最少催行人数:8名様(定員8名) ●食事:朝6回、昼3回、夕6回
- 利用予定ホテル:Bクラス以上。
- 一人部屋利用追加料金:¥52,000(テント泊を除く)
- 利用予定航空会社:デルタ航空、アメリカン航空、全日空、ユナイテッド航空、日本航空

※テントや食料、食器、寝袋は現地地で用意しておりますので、日本より持参いただく必要はありません。  
※トレッキングには現地ガイドも同行。テントや食料など共同装備はミュール(ラバ)が運搬します。  
※このコースは、移動時の専用車はツアーリーダーが運転することがあります。この場合、車両及びツアーリーダーは現地手配会社に所属しています。なお、出発日や参加者数によっては、別途ドライバー・ガイドを手配する場合があります。

## 標高差1,400mを下り谷底へ、 キャンプで贅沢な時間を過ごす

グランドキャニオンの谷底にはアメリカンロッキーを源とするコロラド川が流れているのですが、その川沿いにキャンプサイトがあります。キャンプサイトはシンプルながらも整備されており、湧水を引いてきた水場や公共のお手洗いも設置されていて快適です。テントや寝袋、食料や調理器具など、必要なものはすべて持参しなくてはなりませんが、家畜であるミュール(ラバ)が荷物を運んでくれるというシステムがありますので、最低限の荷物を背負うだけで歩くことができます。キャンプサイト到着後は皆でテントを立てます。そしてシンプルだけど美味しい食事。そして楽しいおしゃべり。コーヒーやお菓子を皆で味わっていると、いつの間にか頭上に星々がきらめき始めます。漆黒の大岩壁の上に星の輝く夜空が広がる世界は独特の雰囲気があり、谷底に身を置いてこそ味わえる、生涯忘れえぬ至福の時間となります。



▲眼前に迫力の大岩壁がそそり立つ(5日目)



▲谷底から見上げるグランドキャニオン

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京発 北米經由都市着/発 ラスベガス着	午後、東京発→米国内都市で乗り継ぎ、ラスベガスへ。着後、専用車でホテルへ。 <b>機中【ラスベガス泊】</b>
2	ラスベガス発 ツサヤン着	専用車で世界遺産グランドキャニオン(サウスリム)近郊の町、ツサヤンへ(約5時間)。着後、グランドキャニオンの縁を歩く、リムハイキングで足慣らしをします(徒歩約2時間)。その後、翌日からのトレッキングの準備をします。 <b>朝日【ツサヤン泊】</b>
3	ツサヤン発 グランドキャニオン トレッキング1日目 ブライトエンジェル キャンプサイト着	専用車でサウスリムへ。サウスリム(2,213m)からトレッキング・スタート。サウスカイバブ・トレイルを下り、谷底のコロラド川を目指します。下るに従って新生代から古生代へ地層が移り変わっていきます。約20億年の歴史を遡る12kmのトレイルです。午後、コロラド川に近い、ブライトエンジェル・キャンプサイト(780m)着(徒歩約7時間)。 <b>朝日【ブライトエンジェル・キャンプサイト泊】</b>
4	ブライトエンジェル キャンプサイト 滞在 グランドキャニオン トレッキング2日目	終日、キャンプサイトに滞在し、周辺のハイキングへ。グランドキャニオンの谷底に身を置き、大自然のスケールを肌で感じます。 <b>朝日【ブライトエンジェル・キャンプサイト泊】</b>
5	ブライトエンジェル キャンプサイト 発 グランドキャニオン トレッキング3日目 ブライトエンジェル トレイルヘッド 着/発 ツサヤン 着	ブライトエンジェル・トレイルを登ります。日が昇るにつれ、峡谷の色彩が刻々と移り変わります。岩壁に付けられた急な登りをゆっくりと歩き、スリーマイル・レストハウスまで付くとサウス・リムまではもうひとがんばり。ブライトエンジェル・トレイルヘッド(2,091m)でトレッキング終了です。片道約16kmの道のりです(徒歩約8時間)。着後、専用車で国立公園入り口のツサヤンのホテルへ(約30分)。 <b>朝日【ツサヤン泊】</b>
6	グランドキャニオン 朝日観賞 ツサヤン 発 ラスベガス 着	朝、サウスリムからの朝焼けを楽しみます。一旦ホテルに戻り朝食後、専用車でラスベガスへ(約5時間)。途中、ルート66の一部を通ります。着後、ショッピングなどをお楽しみください。 <b>朝日【ラスベガス泊】</b>
7	ラスベガス発 北米經由都市着/発	午前、空路、ラスベガス発→米国内都市で乗り継ぎ、東京へ。 <b>朝機【機中泊】</b>
8	東京 着	午後、東京着。 <b>機中</b>

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。



▲ミュールが荷物を運んでくれる



▲小川沿いに並ぶキャンプサイト



▲2日間のキャンプ生活を満喫



▲シカゴから続くルート66を通してラスベガスへ戻る



▲ケアンゴームズ国立公園でハイキング(スコットランド)



▲石灰岩が堆積するバレン高原のアビーヒル(アイルランド)



▲爽やかな風が吹きつける、海岸沿いのコースト・ハイキング(アイルランド)



▲グランドキャニオンの大岩壁につけられたトレイルを下って谷底へ向かう(アメリカ)

## ●お問い合わせ・お申し込み

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業490号(第1種)

一般社団法人日本旅行業協会 正会員 旅行業公正取引協議会会員 ボンド保証会員



# アルパインツアーサービス株式会社

e-mail: [info@alpine-tour.com](mailto:info@alpine-tour.com) <http://www.alpine-tour.com>

創業50周年特設ホームページ <http://www.alpine-tour.co.jp>

東京	〒105-0004 東京都港区新橋3-2-5 (第5東洋海事ビル4階)	☎03(3503)1911	FAX 03(3508)2529
大阪	〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階)	☎06(6444)3033	FAX 06(6444)3032
名古屋	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 (第3千福ビル3階)	☎052(581)3211	FAX 052(561)8338
福岡	〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-2-8 (セントラルビル5階)	☎092(715)1557	FAX 092(715)0826

営業時間のお知らせ / 平日:9:30~18:30、土日祝:定休

総合旅行業務取扱管理者 亀田広明(東京) 大島義広(大阪) 中川元宏(名古屋) 渡部秀樹(福岡)

北海道 / 北海道地区総代理店 (株)りんゆう観光 〒060-0909 札幌市東区北9条東2丁目 ☎011(711)7106 FAX 011(731)1456

(受託販売) 観光庁長官登録旅行業第923号 総合旅行業務取扱管理者・植田拓史

※北海道地区総代理店へはフリーコールはございませんので、直接おかけください。

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱責任者にお訊ねください。

山旅専用フリーコール

0120-938-290

ネイチャリングツアー  
専用フリーコール

0120-938-248